（様式１－３　中核市・特別区）

事業概要（都道府県等を通じた市区町村等が行う日本語教育への支援）

※青字部分に記載し、不要な青字部分は提出時に文字を削除してください。

＜記載例＞

（１）応募者情報

団体名	○○市

（２）事業の概要

１　事業の名称	○○市における地域日本語教育体制整備事業
２　目的等	
○目的 市内において、日本語学習を希望する外国人が、居住地や環境を問わず、一定の質が担保された日本語学習の場にアクセスできるような日本語学習環境を整備する。 ○実施方法等 市内の日本語教室では、県の日本語学習支援者人材を活用。教室運営業務については、○○市国際交流協会に委託。地域の○○○○○と連携して実施する。	
３　取組の基準となる地域日本語教育の総合的な推進計画または基本方針名称等（基本方針等を策定している場合は記載してください。）	
１ 名称 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○基本方針 URL 記載 各団体で定めた、本実施計画の基となる基本的な方針や総合的な推進計画または基本方針等の名称を記載。 ２ 実行計画作成日 ○○年　○○月　○○日 ３ 主な内容 １．外国人住民が生活に必要な日本語を学び、地域で安心して暮らせるよう、初期日本語教育や生活場面に応じた日本語学習機会の充実を図るとともに、やさしい日本語の普及を進める。 ２．日本語教室、ボランティア、関係団体等との連携を強化し、日本語教育コーディネーターの活用や人材育成を通じて、持続可能な地域日本語教育の推進体制を整備する。	

４　配置している地域日本語教育コーディネーター（地域日本語教育コーディネーターを配置している場合は記載してください。）

氏名	現在の所属・職名	主な業務	自主財源で配置/ 都道府県から派遣

（様式１－３　中核市・特別区）

〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇・〇〇〇〇	・地域の外国人住民の日本語学習ニーズや課題の把握 ・日本語教育事業の企画・運営支援および助言	〇〇県から派遣

５　事業の期間	令和８年　４月　１日　～　令和９年　２月　28 日（11 か月間）
６　これまで本補助金等を活用して事業を実施した期間	令和４年度～令和５年度（計２年間）

７　年次ごとの実施内容

実施内容及び自立に向けた複数年計画を記載してください。（直近、３～５年間の計画を記載してください。※今年度で終了予定の場合は、記載不要）

年度	実施内容・自立に向けた複数年計画
令和８年度	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和９年度	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和１０年度	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和１１年度	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
令和１２年度	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇本事業の補助終了後における、事業継続のための予算確保等の計画

〇〇〇
〇〇〇

（３）事業の実施内容

①　市区町村が実施する日本語教育

※日本語教室を行う場合は、以下のテンプレートを活用し、記載してください。
※日本語教室以外の取組は、【名称】【目的】等のテンプレートを基本に、項目建てて記載ください。
※活動が日本語教室の場合は、【新設・既設の別】を〇で選択してください。

【種別及び事業名称】生活に役立つ入門日本語教室【試行】

【新設・既設の別】　新設・　既設　（※日本語教室の場合は選択してください。）

【目標】来日したばかりの人や、長年日本に暮らしているが日本語を学ぶ機会がなかった人に対する日本語指導を行い、日本語学習機会の提供を行うとともに生活に困らない程度の日本語能力の獲得を支援する。

（様式１－３　中核市・特別区）

【実施回数・時期】○回（１回○時間）　○月～○月

【実施期間】○月～○月

【実施場所】○○市公民館、○○ふれあいセンター、○○市立図書館

【受講者募集方法】開催対象となる○箇所の市区町村の広報誌や HP で募集する。

【受講者見込数】○人（○人×○か所）

【講師】　○人（うち、日本語教師　○人）

【内容】※具体的に記載すること

標準的なカリキュラム案等を活用し、入門レベルの日本語学習者を対象とした日本語教室（全 10 回）を開催する。指導は日本語教師、補助は地域住民から募った日本語学習支援者が行う。

具体的な指導内容：

第１回　オリエンテーション・レベルチェックテスト
第２回　日本語の文字（ひらがな・かたかな）・あいさつに役立つ日本語
第３回　買い物に役立つ日本語
第４回　病院で役立つ日本語
第５回　レストランで役立つ日本語
第６回　市役所で役立つ日本語
第７回　地域で暮らすときに役立つ日本語
第８回　銀行で役立つ日本語
第９回　学習のふりかえり
第 10 回　成果発表会

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】

（ あり ・ なし ）　※○で選択してください。

【種別及び事業名称】ボランティアによる日本語教室

【新設・既設の別】　新設 ・ 既設　（※日本語教室の場合は選択してください。）

【目標】既存のボランティアによる日本語教室を支援することで、幅広い日本語学習機会を確保する。【実施回数・時期】○回（１回○時間）　○月～○月

【実施期間】○月～○月

【実施場所】県内日本語教室

【受講者募集方法】各ボランティアグループ等が独自で募集活動を行う。

【受講者見込数】○人（○人×○か所）

【講師】　○人（うち、日本語教師　○人）

【内容】※具体的に記載すること

ボランティアが地域に在住する外国人を対象に、それぞれの課題意識に基づき日本語指導を行う。

○月　第１回　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○月　第２回　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○月　第３回　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○月　第４回　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】
（ あり ・ なし ）　※○で選択してください。

②　小規模な民間団体等が実施する日本語教育への支援

本欄に記載のうち、補助金等を交付して実施する取組における交付団体数	交付団体数	２団体

※日本語教室を行う場合は、以下のテンプレートを活用し、記載してください。
※日本語教室以外の取組は、【名称】【目的】等のテンプレートを基本に、項目建てて記載ください。
※活動が日本語教室の場合は、【新設・既設の別】を○で選択してください。

（取組⑪）地域日本語教室で役立つ「やさしい日本語」講座

【名称】○○○○○○○○○○○○○○○○○

【新設・既設の別】　（ 新設 ・ 既設 ）　※○で選択してください。

【補助金交付の有無】（ あり ・ なし ）　※○で選択してください。

【目的】地域日本語教室に参加する者や外国人住民の周囲の人たちが、日本語学習者の日本語学習を促進するための方法として身に付けておくとよい「やさしい日本語」について学ぶための講座を、年に○回開催する。

【実施回数・時期】東部地域　○年○月上旬　00：00～00：00（○時間）
西部地域　○年○月上旬　00：00～00：00（○時間）

【実施期間】○月～○月

【実施場所】東部地域　○○ホール／西部地域　○○ホール

【受講者募集方法】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【受講者見込数】２地域の合計　○名

【講師】○人（うち、日本語教師　○人）

【内容】
・日本語教室ってどんな場所？
・やさしい日本語の作り方
・やさしい日本語の活用事例紹介

【関係機関との連携】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【「日本語教育の参照枠」や、生活 Can do 等の活用の有無】
（ あり ・ なし ）　※○で選択してください。

（４）取組予定（主な取組の実施スケジュールを記載）

令和８年４月	開校準備・募集
５月	１期教室開校
６月	

コメントの追加 [A1]: 補助金等（補助金・負担金・分担金・交付金）の交付も想定されていますが、事業計画において、その具体的内容が示されていないことが多いため、どういった目的で支援が行われるかが分かるようにしてください。

７月	
８月	やさしい日本語講座
９月	２期教室開校
１０月	
１１月	
１２月	やさしい日本語講座
令和９年１月	次年度計画
２月	実績報告
３月	開校準備・募集

（５）事業実施によって期待される効果

外国人住民が生活に必要な日本語を身につけられる。また、地域社会とつながりを持つことができる。